道路インフラにおける実証フィールド提供 ＜令和3年度の実施結果＞

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

ICT等を活用した新しい製品・技術開発の現場実証に必要となるフィールド（市が管理する道路施設等）を企業等に提供する取組について、令和3年度の実施結果を報告します。

	企業名	実施場所	フィールド提供概要	実施期間	実施結果
1	日本電気株式会社	中原区管内	ドライブレコーダーを活用した道路劣化診断	令和3年2月1日～9月30日	実施期間内の撮影で、生活道路を含め、区内道路の網羅率が高かったが、車体形状によっては、撮影可能な路面領域が狭くなる課題を確認
2	キヤノンマーケティングジャパン株式会社	川崎駅前南交差点	IPカメラとAIを活用した交通状況調査	令和3年5月25日	方向別にカウントできたものの、街路樹等の死角や車両の重なりにより誤抽出したことで、撮影条件に課題を確認
3	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	川崎市北部地区管内	公用車に電子タグを搭載し、自動車の走行や運転挙動の可視化	令和3年5月10日～5月31日	タグを搭載することにより、運転挙動の見える化が可能となり、また、安全運転に寄与することを確認
4	株式会社新日本コンサルタント	麻生区管内	道路パトロール業務のICT化	令和3年9月1日～令和4年3月31日	スマートフォンを活用し、道路パトロールの日報やルート図作成等の事務効率化のメリットや課題の確認
5	株式会社ドコモCS	土橋交差点	カメラで交通状況を撮影し、AI処理を行い交通量の計測	令和3年3月19日～3月26日	1断面において、概ね計測できたものの、画角やカメラの解像度について、改善等の課題を確認
6	NECソリューションイノベータ株式会社	鋼管通交差点	量子コンピュータを活用した交通流解析	令和3年8月10日～令和4年3月31日	複数台カメラを設置したことで、具体的な走行経路も含め交通量を計測できたが、降雨時、誤検出が多いことや大型トラックを2重カウントするなどの課題を確認
7	学校法人　東海大学 岡谷エレクトロニクス株式会社	川崎駅東口周辺	3DLiDAR等のIT機器の活用による交通流計測	令和3年11月17日・20日 令和4年3月16日・19日	ロータリー内の交通流は確認できたものの、電源や設置位置について課題を確認し、対応策を検討